



FIWA 新正会員紹介
キャサリン(竹内かおりさん) & ナンシー(西岡奈美さん)

お金の教育を公教育に。
金融教育がスタンダードになる日が必ずやってくる

寄稿: 竹内 かおり氏、西岡 奈美氏

ユニークな活動をしているキャサリンとナンシー。戦後から 70 年代初にかけて大人気だった関西の漫才、「中田ダイマル・ラケットみたいだな」などと私はからかっています。それをまた、喜んでいるところが二人のいいところ。全国区になるにはある意味、関西テイストを修正していく必要があるかもしれませんが、この二人、何か、やらかしてくれそうで楽しみです。FIWA が考えるアドバイスを必要とする生活者は、リタイア後のためにお金の準備をしている就業世代の人だけでなく、住山さん(本誌 6 月号)のように障がいのある人や、この二人が対象としているような子供たちもみんな対象です。すべての人たちが少しでもお金の心配を減らせるようなアドバイスをしてあげることがいま一番、求められているのです。(岡本)





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

●キャサリンとナンシーの金融教育 プロフィール

二人とも、元証券会社出身、子育て中のファイナンシャル・プランナー。

「お金」の話をかんたんに面白く伝える「お金のお医者さん」として活動。

二人一組で公立小学校をはじめとする教育機関、金融庁・金融広報委員会など公的機関主催の金融教育講座を行う。講座実績は2020年3月時点で200を超える。

- ・第15回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール 奨励賞受賞(2018年)
- ・第14回日本FP学会賞 奨励賞受賞(2019年)

キャサリン(竹内かおり) プロフィール

講座ではブルーの白衣を着てひげメガネをしている。盛り上げ、寄り添い担当。中学生と小学生3人の母親。証券会社に入社して資産運用を学び、その中でも株式投資に興味を持つ。趣味は読書。資格:AFP、FP技能士2級、証券外務員1種、秘書検定2級、FIWA認定正会員

ナンシー(西岡奈美) プロフィール

講座ではピンクの白(?)衣を着ている。進行担当。中学生と小学生2人の母親。中高英語科の教員免許を取得するも縁あって証券会社に入社したことで、お金の先生になることを決意する。趣味はバドミントン。資格:CFP®、FP技能士1級、証券外務員1種、中高英語科教員免許、FIWA認定正会員

●ごあいさつ

この度、FIWA 正会員に認定していただきましたキャサリン(竹内かおり)とナンシー(西岡奈美)です。どうぞよろしくお願いいたします。私たちは兵庫県在住のファイナンシャル・プランナーで小学生向けに「キャサリンとナンシーのお金のおはなし」という授業を展開することを、主な仕事にしています。共に証券会社出身であり、子育て中の母親です。キャサリンはわかりやすいスライド作成をすることが得意、ナンシーは講座の組み立てが得意など、各人の特性をフルに活かしてお仕事をさせていただいています。

兵庫県中心の活動を始めて8年目になりますが、2018年に岡本和久先生の主催する「大人と子供のためのハッピー・マネー®教室」で登壇させていただいた事が大きな転機となって、少しずつ全国からお声掛けいただけるようになっていきます。将来、私たちの行う子ども向け金融教育が公教育にスタンダードに取り入れられることを目指して勝手に奮闘中です。特に子ども向け投資教育については、「キャサリンとナンシーに相談すれば間違いない!」とさせていただけるようになるこ



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

とが目標です。

2 人とも四六時中、良い授業に繋がるものがないか？考えながら教材研究をしています。日々の生活で「これは子どもにウケるかもしれない！」と思ったら、上手くいかないかもしれないけれど、とりあえず行動します。ナンシーの娘に協力してもらいつつ、始めた『あつまれどうぶつの森※』もそのひとつです。そのほか、今の世の中無視できない YouTube チャンネルの開設や、インスタグラムなども始めました。



※『あつまれ どうぶつの森』英題：Animal Crossing: New Horizons)は、任天堂より 2020 年 3 月 20 日に発売された Nintendo Switch 用ゲームソフト。キャッチコピーは「何もないから、なんでもできる」。通称『あつ森』。

●現在のお仕事について



Katherine & Nancy

キャサリンとナンシーの金融教育

お金のおはなし

株ラブ

お金の相談クリニック



株ラブ  LOVE





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

現在、私たちの業務展開は図の通りです。キャサリンとナンシーの金融教育を冠にして、コンセプトの異なる3つのブランドを展開しています(あつ森でブランドの成長具合を描いてみました)。

①キャサリンとナンシーのお金のおはなし:

講師業。公立小学校での授業のほか、公的機関主催の授業を行う。私たちの仕事のほとんどがこの部分なので露出も多い。

→長く育ててきた木に、実がなり始めている。これから木を増やし、森にしていきたい。

②キャサリンとナンシーの株ラブ:

毎月1回程度、株式の事をざっくばらんに話す部活動。株式 LOVE=株ラ部=株ラブ。部長はキャサリン、マネージャーはナンシー。趣味の延長で始めた。なかなか人が集まらないこともあったが、近ごろは毎月申込みがある。伊丹・三田・今年2020秋からはKANDAI Me RISE 梅田でも開催。

→なかなか育たず試行錯誤していたが、この程、土壌を入れ替えることで成長の兆し。

③キャサリンとナンシーのお金相談クリニック:

FIWAに関する業務はここで行う。白衣は私たちのユニフォームなのでお金の相談クリニックという名前に。私たちの特性を活かし、教員の方中心で、投資を始めたい方に相談を行うことを検討している。

→苗を植えたところ。水をやって成長させようとしている。

●金融教育を公教育に

ナンシーが子ども向け金融教育を始めるにあたって、ある教員の方に「お金の教育をスタンダードに行えるようにしたい」と伝えたら、(実際はこの言葉を言い終わるか言い終わらないうちに)「それはないわ。これからは英語教育やで」と言われ、本気で腹が立ったことがあります。私は英語教員の免許を取得した経験がありますので、英語教育が重要であることは否定しません。しかし、英語は何か使わずに生きていくことが可能であるのに対して、お金は現代、使わずに生きていくことは不可能です。それなのに否定されたことが本当に悔しく、負けず嫌いの私は「絶対に叶うまで辞めない。」と強く心に誓うきっかけになりました。

有難いことに、キャサリンの子どもの担任だった教員が、授業の機会を与えてくださったうえに、学校管理職に強い働きかけを行ってくださったおかげで現在は兵庫県三田市立H小学校で1年生から6年生の全学年に授業を8年にわたり行うことができます。単発授業ではなく、毎年継続して授業を行えていることが注目されています。この活動が大きくなって本当に金融教育が公教育



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

で行われる日が来てほしいです。

●キャサリン(竹内かおり)

投資をもっと身近に

就職活動で受けた銀行に最終面接で落ち、自分の慰めに買った「はみ出し銀行マンの金融崩壊(角川文庫)」という本の中に書かれていた「これからは銀行ではなく証券だ」という言葉がきっかけで証券会社に入社しました。就職氷河期でもあり、この時は、自分の目標としていた“知っている名前の会社、に入社できて良かったというくらいの思いで、投資の経験も興味も全くありませんでした。ところが、入社してからはチャートが動いている様子や「金持ち父さん貧乏父さん(筑摩書房)」で読んだ労働以外でお金が増えていく様を目の当たりにする日々刺激を受け、興奮していたのを覚えています。アメリカ同時多発テロで13,000円程だった日経平均が瞬く間に7,000円に落ちていく様、マイカル破綻もあり、良い時、悪い時を経験しました。この証券会社での体験が私の中でかけがえのないものになっています。



ちょうど現代は、老後資金の準備方法としても投資は知っておく必要がある時代です。私のように証券会社に入ることがなくても、たくさんの方に「投資」に出逢っていただき、一生涯役立つ「投資の知識」を手に入れてほしいです。

日常の中で、“お金の相談、にお金を払う文化がないと感じます。それは、金融機関や保険の窓口的なところが“お金の相談、をサービスの一環として無料で提供していることが原因にあるかもしれません。弁護士や税理士、医者や看護師、デザイナーなど、その道を仕事としている方に相談やアドバイスを求めるとき、自然にお金を払うように、“お金の相談、にもそのような意識を持ってもらえるようになったらいいなと思います。今は、皆無な世の中ですが、FIWAの存在が、“お金の相談、にお金を払う文化をつくる一歩になると感じています。まずは、相談者の方にお金を払う価値があったなと思ってもらえるような仕事ができるように精進したいです。

●ナンシー(西岡奈美)



長期投資仲間通信「インベストライフ」

お金のはなしをかんとんに！おもしろく。

小さいころから教員になりたかった私は、祖母のお金を使い倒して大人になりました。祖母をお金持ちだと思っていて、本気で打ち出の小槌のように思っていました。祖母は毎回、私におこづかいを渡すとき「いつもありがとうね」と言いながら渡してくれていたのですが、本来であればお金を受け取る私が「ありがとう」と言うべきですね。不思議だな・・・と思いつつも、それが当たり前だったので気にも留めていませんでした。



そんな私が教員にはならず(なれず)に、ご縁あって証券会社に入社しました。そこで知ったお金の知識は、もし私が教員になることができたら、きっと一生知ることのなかった知識だと感じながら、営業のお仕事をしていました。転勤族の主人との結婚で、関西から東北(仙台)へ移り住んだ半年後、祖母が肺がんで亡くなりました。その時に初めて知ってショックだったことがあります。それは「祖母はお金持ちではなかった」という事実でした。孫のために必死で働いてお金を用意していたのです。苦勞してお金を用意してくれていたにもかかわらず、そんな素振り一つも見せていませんでした。そして私は勘違いし続けて、感謝の言葉を伝えずにお別れしたことを今でも心から後悔しています。

このようなバックグラウンドから、お金があるのは当たり前ではない、「ありがとうのしるし」でやってきていることを子どもに伝えたい想いと、「もし早い段階でお金の知識を持つことができたら、もっと良い対策がとれた(資産運用を始めていた)」という人を減らしたいという想いからお金について話すお仕事をすることに決め、今に至っています。

FIWAの理念と反するのかもしれませんが、私は金融商品販売のためのアドバイス営業を悪いことだとは思っていません。私自身、証券会社で勤めていたことを誇りに思っており、営業のお仕事は苦しくも楽しかった良い思い出です。大事なものは、金融商品を購入する側が、商品や手数料のしくみを理解し、お金を自分の意志で使うことだと思っています。頭の中に疑問符が浮かんだまま商品を購入・契約をする前に、私たちのような完全中立の者がお手伝いをすることで、相談者の不安と疑問を取り払えると嬉しいです。そのために私は教員免許を活かし、お金のはなしをかんとんに！おもしろくお伝えしていきたいと思えます。

●おわりに

私たちの仕事は前述のとおり、子ども向けの講師業の占める割合が多いのですが、授業後に教員や保護者の方から「私たち自身の相談にも乗っていただけるのですか？」と聞かれることがあります。その方たちの力になりたいと心から思っていますので、今後は相談業務にも力を入れてい



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

きたいです。経験を積み、続けていく中で「昔、学校でキャサリンとナンシーのお金のおはなし講座を受けたことがあるので、相談しに来ました」という相談者が出てくることを願っています。

私たち二人は証券会社出身であることや子育て中であることなど、似ているところもたくさんありますが、暮らしている環境の違いや、投資スタイルの違いなど、違っているところもたくさんあります。ご相談は基本二人でお伺いし、それぞれが相談者に対して感じることをお伝えしていきます。FIWAの一員として今後、相談で出会う方には、「最初からセカンドオピニオンが付いてくる相談」だと思っていただけると幸いです。